

「東京ストリートってすごい」



エヴィスジーンズやエドウィンなど日本のジーンズは若者に根強い人気＝ロンドンで／撮影・斎藤久美氏

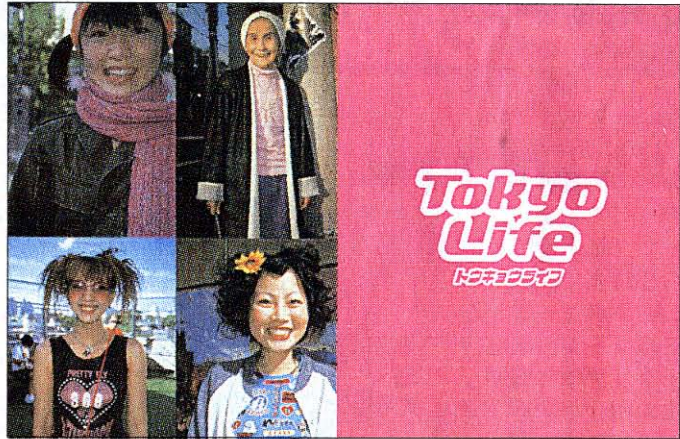


モードの話ではなく、ストリートスタイルの話である。どうやらロンドンで「東京はすごい」といわれているらしい。パンクを生みストリートカルチャーを引っ張って

いたあのロンドンで、である。カッコいいセンスは海外から、と思いこんでいる私には、何がすごいのかピンとこない。そこでうわさの周辺を歩いた。(加来 由子)

ロンドンで 上

「東京は活気があるすごい都市だった。エネルギーを感じたわ」。ロンドンで最も勢いの



ある百貨店「セルフリッジ」のファッション責任者スーザン・タイドフリターさんはいち。

百貨店「セルフリッジ」がつくった「トウキョウライフ」フェアのパフレット

ブランド、着々浸透

うわさは同僚から聞いた。その人は海外での仕事のついでに「ちよっと寄ってみるか」と軽いノリで東京へ。で、街に圧倒され、スーザンにしきりに「見に行け」と勧めたのだそう。

日本ブランドの服は同店でも人気商品。日本でも知る人ぞ知る「エヴィスジーンズ」は、一部の若者のカリスマ的な支持がさらに幅広く浸透し、1着1500円(日本円で約3万円)なのに週に120着も出ている。

スーザンの「これぞ東京」というイメージは、洗練されたブティック、不夜城のコンビニ、ポツポツな自動販売機、携帯片手に歩きながら情報を得るSFマンガのキャラクターのような若者たち、原宿をかつ歩するスタイルッシュな女の子たち……。「もう圧倒されつぱなしよ。ヒップでクールで最高。2000枚も写真撮っちゃった」。

東京にじびれたセルフリッジの面々は、全館あげて5月に「トウキョウライフ」という一大フェアを計画している。

同百貨店のチーフエグゼクティブ、ビットリオ・ラティス氏は「今の東京ストリートは、ロンドンの90年代前半を思わせる。私は、日本の景気後退は、日本人に、クリエイティブな精神を生み出させたと思う」と同展のパフレットにつづる。

都市の「旬」を実感しているのが田中康晴氏(35)。ロンドンでも人気